

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野だより

令和2年 7月31日 発行 第26号 発行者:中野区立中野中学校

礼を尽くすということ ～相手よりも深く、相手よりも長く～

終わりの見えない新型コロナウイルスとの闘いで閉塞感に覆われる国内に喜びと活力を与えてくれたニュース——。将棋の藤井聡太七段が17歳11月という史上最年少で棋聖のタイトルを獲得した。今回は14歳2ヶ月で史上最年少プロとなり、デビューから無敗の29連勝を飾るなど、数多の記録を更新している勢いをそのままに初戴冠を成し遂げた藤井新棋聖の話。

人は勝負や試合では勝った時より負けた時の方が人柄が出る。藤井棋聖の負けず嫌いは有名で、幼少期は将棋で負けると大泣きして悔しかった。小2の時、憧れの谷川永世名人の指導対局を受けて劣勢となった際、同名人から「引き分けにしようか」と提案されると将棋盤を抱えて猛烈に泣き始めた。その場に居合わせた杉本八段（後の師匠）が取りなしても効果なく、母親が飛んできてようやく収まった。今も敗勢を悟った時はがっくりと肩を落とすが、すぐに投了する（負けを認める）ことをしない。最後まで諦めず、負けることに抗（あらが）い、何とか勝機を見い出そうとする。それでも、敗北が不可避と判断すると、気持ちを整理し「負けました」と言う。声の大きくない藤井棋聖だが、投了を伝える言葉は潔く、はっきりと言う。

藤井棋聖の将棋に対する姿勢が最もよく現われるのは対局後。将棋では対局を終えると双方がお辞儀をする。藤井棋聖はどの対局でも常に相手よりも深く、長く頭を下げる。高さ30cm程の将棋盤より低く頭を下げるため、相手には藤井棋聖の後頭部どころか背中まで見える。また、将棋では負けた方が先に頭を下げるのだが、藤井棋聖は勝っても負けても相手より先に頭を上げることはない。

藤井棋聖をよく知る人は、「彼は生活の中に将棋があるのではなく、将棋の中に生きている」と述べる。相手より深く、長く頭を下げることは、対局相手への敬意と自分を生かしてくれる将棋への感謝の表れである。この姿勢こそが「礼を尽くす」ということであり、将棋界最高位とされる名人位や竜王位に就いた時でも変わることはないであろう。その日は、遠からず訪れるに違いない。



藤井棋聖はタイトルを獲得した翌日の記者会見で『探究』と書いた色紙を披露し、「将棋は難しいゲーム。これからも探究心を持って臨みたい」と述べた。コロナによる外出自粛の際も、自宅で気を抜くどころか研究に没頭し「棋聖」に見合う実力を身につけ、さらに高みを目指し努力する彼に相応しい言葉である。

さて、間もなく夏休みとなる。例年より短い今年の夏休みが、中野中の皆さんにとって『探究』の夏休みとなることを願っている。
(自称将棋3級)

熱中症予防講演会を実施



6月30日(火)、1年生対象に熱中症予防講演会を行いました。予報では、今後猛暑の日が増えるとのこと。新型コロナウイルスの感染予防対策同様、熱中症にも十分に注意して生活してください。「備えあれば憂いなし」です。健康に留意し、今年の夏を乗り切りましょう。

いじめ防止・SOSの出し方講演会を実施

7月18日(土) (株)STOP IT JAPAN の中野さん、谷山さんを講師に迎え、1学年はいじめ予防講演会、2・3学年はSOSの出し方講演会を行い、いじめの醜さ及び自分自身を守るためのSOSの出し方等について学習しました。

SOSの出し方講演会では、「頑張ってるじゃん!」と人からかけられる言葉を自分にもかけてあげよう、相手も自分も大切に生きていこう、という内容のお話に生徒が真剣に耳を傾けていました。終了後、教室に戻って講演の振り返りを行いました。



身体計測を実施

生徒の健康診断は6月末までに実施することになっていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で7月に入ってから行いました。下の写真は、7月18日(土)に1年生が身体計測を行っている様子です。身体計測は身長、体重、視力等の計測を当該学年の先生のみならず、他学年の先生方のお手伝いを頂きながら行います。

計測の順番を待っている間は当然のことながらソーシャルディスタンスを心がけ、手の消毒を行いました。



避難訓練を実施

7月21日(火) 火災を想定した避難訓練が行われました。今回は避難時の「密」を避けるために、1学年のみが避難をしました。1年生が訓練で校庭に避難するのは入学以来初めてのことでしたが、誰もが真剣な態度で訓練に臨んでいました。特に、玄関を出てから集合場所まで全速力で疾走している姿が印象的でした。

訓練後は、上履きの底に付いた校庭の砂が校舎内に入らないよう、各クラスの美化委員が用意してくれた濡れ雑巾で上履きの裏をきれいにして教室に戻りました。



<おまかせ教室について>

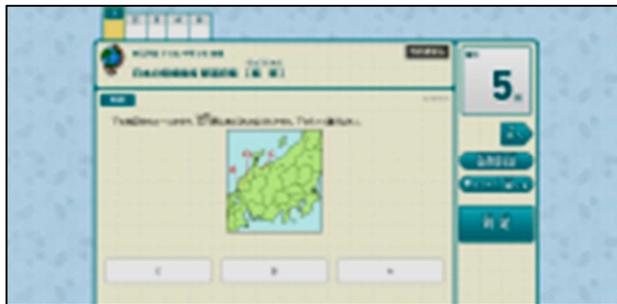


区立小中学校において、NTT東日本が提供している「おまかせ教室ラインズeライブラリアドバンス」サービスが導入されました。おまかせ教室では、ドリル問題（国数英理社）を中心として、以下の「家庭学習サービス」を無料でご利用になることができます。（ただし、各種通信機器の通信にかかる費用は各ご家庭でのご負担となります）

◆家庭学習サービス

児童生徒は自宅のパソコン、タブレット、スマートフォンからインターネットに接続して、「ラインズeライブラリアドバンス」のドリルを使った学習ができます。学習の結果は履歴として残り、継続的な学習ができます。

なお、本サービスは『おまかせ教室ラインズeライブラリ』の導入校に通学する児童生徒のみが利用できるもので、学校コードやID・パスワードは生徒を通じて配付しています。



オンライン上で解答し、採点できます。

取り組んだ学習の履歴が確認できます。

（画像は一例です。実際とは異なる表示がされる場合があります）

<補充学習のお知らせ>

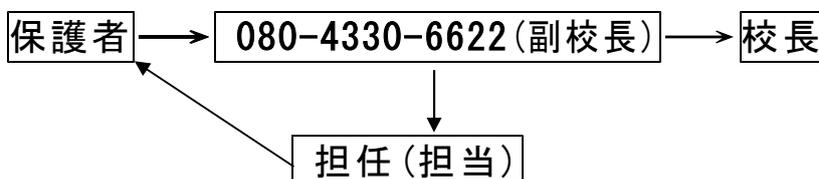
8月24日(月)～28日(金)の5日間、全学年で補充教室(数学)を実施します。詳細についてはお配りしたプリントをご覧ください。申込期限は8月4日(火)です。

<教育活動休止日の緊急連絡方法について>

8月12日(水)から16日(日)までの5日間は学校の教育活動休止日となり、教員不在となります。

この期間、担任等への連絡を必要とする場合は、以下のように対応されますようお知らせいたします。

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



連絡がつかない場合の緊急連絡先

①防犯・安全関係

・野方警察署

03-3386-0110

・中野警察署

03-5342-0110

②教育相談関係

・区教育センター

03-3386-9313

③その他

・区教委指導室

03-3228-5589